

令和 7 年度 施 工							
工 事 （ ） 設 計 書							
工 事 場 所	鳥取市 港町 地内						
工 事 名	港町地内配水管移設工事						
工 期	着 工 令 和 年 月 日			完 成 令 和 年 月 日			

変 更 設 計 金 額

工 事 金

円

元 設 計 金 額

＜ 理 由 ＞				
鳥取県鳥取港湾事務所施行、鳥取港 8 号岸壁改良工事（2 工区）（交付金）に伴う配水管移設工事				
＜ 概 要 ＞				
（移設）				
新設配水管	HPPE	φ 75	L=111. 5m	
（給水管）				
給水管切替	HPPE	φ 50	1件	
（撤去）				
仮設配水管	HPPE	φ 75	L=120. 4m	
（廃止）				
廃止配水管	DIP. A	φ 75	L=111. 5m	

積 算 情 報 表

(0732300053-0)

P. 4

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施		
変更回数	当初		
積算基準パ ターン	47:令和6年度厚労省基準(R6.7適用) (消費税10%)		
設計年度	令和07年度		
単価適用地区	03 鳥取市		
単価適用日付	令和07年05月15日 (03)		
適用率	01 開削工事及び小口径推進工事等		
前払金支出割合区分	3 5 %を超え 4 0 %以下		
共通仮設費補正	補正しない		
週休2日補正	1 : 4 週 8 休以上		
(週休2日) 交替制工事	なし		
(週休2日) 共通仮設費係数	1. 04		
(週休2日) 現場管理費係数	1. 06		
(週休2日) 機械経費係数	1. 04		
(週休2日) 労務単価係数	1. 05		
(週休2日) 市場単価係数	適用する		
現場環境改善費	計上しない		
現場環境改善費地域			
現場管理地域補正	補正しない		
熱中症対策補正	なし		
契約保証費率	金銭的保証		
豪雪補正	補正有		

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	直接工事費				式	1			
	共通仮設費				式	1			
		対象外費			式	1			
			管材費		式	1			
		処分費等			式	1			
		処分費等対象額			式	1			
		処分費等（3%超過分）			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
		技術管理費			式	1			第5号内訳書

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	純工事費				式	1			
	現場管理費				式	1			
		対象外費			式	1			
		対象額			式	1			
		率計算分			式	1			
	工事原価				式	1			
	一般管理費等				式	1			
		一般管理費			式	1			
			対象額		式	1			
			率計算分		式	1			

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		契約保証費			式	1			
	工事価格				式	1			
		消費税等相当額			式	1			
	本工事費				式	1			

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	配水管布設工			HPPE φ 75	式	1			第1号内訳書
	給水管切替工			HPPE φ 50	式	1			第2号内訳書
	仮設管撤去工			HPPE φ 75	式	1			第3号内訳書
	廃止管撤去工			DIP φ 75	式	1			第4号内訳書
	合 計								

第1号の1 配水管布設工 1式当たり内訳書 HPPE φ 75							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材 料	小 計	式	1				
水道配水用ポリエチレン管	受口付 HPPE φ 7 5 × 5 0 0 0	本	21				(JWWA K 144), 管材費
水道配水用ポリエチレン管	フレーション付 HPPE φ 7 5 × 5 0 0 0	本	2				(JWWA K 144), 管材費
両受チーズ	HPPE φ 7 5 × φ 5 0	個	1				(JWWA K 145), 管材費
メカニカル継手	φ 7 5 (HPPE × DIP)	個	2				FCD製, 離脱防止付, 内外面粉体塗装, 管材費
布 設	小 計	式	1				
ポリエチレン管据付工	呼び径75mm 融着接合	m	111.5				第5号単価表
管明示テープ工 (ポリエチレン管)	HPPE φ 7 5	m	111.5				第6号単価表
溶剤浸透防護スリーブ被覆工	呼び径75mm 専用固定用ゴムバンド使用	m	111.5				第7号単価表
管明示シート工		m	111.5				第8号単価表

第1号の2								配水管布設工 1式当たり内訳書		HPPE φ 75	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要		
ポ リエチレン管継手工		呼び径75mm 融着継手		口	21				第9号単価表		
ポ リエチレン管継手工		(2口当り) 呼び径75mm 融着継手		箇所	1				第10号単価表		
ポ リエチレン管切断工		呼び径75mm		口	2				第11号単価表		
継手工		ドレッカー型ジョイント(特殊) 呼び径75mm以下		箇所	2				第12号単価表		
土 工		小 計		式	1						
舗装版破碎		アスファルト舗装版 障害等有り 舗装版厚4cm以下		m2	1				第13号単価表		
人力運搬 (積込み～運搬～ 取卸し)		換算距離20m以下		m3	0.02				第14号単価表		
アスファルト塊処理		BH山積0.28m3 タンプ 2t積 DID区間無し 良好 運搬距離2.7km		m3	0.02				第15号単価表		
再資源化施設受入費		アスファルト塊(切削, 掘削) 南隈		t	0.04				処分費,		
バックホ掘削積込		排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)		m3	40				第16号単価表		

第1号の3 配水管布設工 1式当たり内訳書 HPPE φ 75							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
床掘り	土砂 現場制約あり	m3	0.02				第17号単価表
管路埋戻(機械埋戻バック材)	タンパ締固め 発生土 バック材 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	40				第18号単価表
不陸整正工	施工幅1.8m未満 補足材無し	m ²	1				第19号単価表
アスファルト舗装(人力)	歩道部 再生密粒度アスコン(20) 舗装厚50mm プライムコート	m ²	1				第20号単価表
合 計		式	1				

給水管切替工 1式当たり内訳書							
第2号の1		HPPE φ 50					
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材 料	小 計	式	1				
水道配水用ポリエチレン管 甲切管	HPPE φ 50	本	1				(JWWA K 144), 管材費
水道配水用ポリエチレン管 乙切管	HPPE φ 50	本	1				(JWWA K 144), 管材費
両受ベンド	HPPE φ 50 × 90°	個	2				(JWWA K 145), 管材費
PE挿口付ソフトシール弁	7.5K HPPE用 φ 50	基	1				管材費
メカニカル継手	HPPE × VP・SP φ 50	個	1				FCD製, 離脱防止付, 内外面粉体塗装, 管材費
布 設	小 計	式	1				
ポリエチレン管据付工	呼び径50mm 融着接合	m	3.2				第21号単価表
ポリエチレン管継手工	呼び径50mm 融着継手	口	5				第22号単価表
ポリエチレン管切断工	呼び径50mm	口	3				第23号単価表

給水管切替工 1式当たり内訳書							
第2号の2		HPPE φ 50					
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
継手工	ブレーカー型ジョイント(特殊) 呼び径75mm以下	箇所	1				第12号単価表
仕切弁 バックライ弁設置(人力) (縦・横型)	吊込み据付 呼び径50mm	基	1				第24号単価表
仕切弁ボックス撤去工	ソフトシル弁 φ 50 土被りH=450 φ 250鉄蓋, 150CA	箇所	1				第1号単価表
仕切弁ボックス設置工	ソフトシル弁 φ 50 土被りH=450 φ 250鉄蓋, 150CA	箇所	1				第2号単価表, 既設鉄蓋, ボックス材料再使用 基礎 砕石バック材規格排対2次 山積0.28m3
土 工	小 計	式	1				
バック材掘削積込	排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	0.4				第16号単価表
床掘り	土砂 現場制約あり	m3	0.5				第17号単価表
管路埋戻(機械埋戻バック材)	タンパ 締固め 発生土 バック材 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	0.4				第18号単価表
人力埋戻し+タンパ締固め	在来土	m 3	0.5				第25号単価表
合 計		式	1				

第3号 仮設管撤去工 1式当たり内訳書 HPPE φ 75							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
撤 去	小 計	式	1				
継手撤去工	トレッサー型ジョイント(特殊) 呼び径75mm以下	箇所	2				第26号単価表
土のう撤去工		袋	47				第3号単価表
既設ポリエチレン管吊上げ積み	呼び径75mm	m	120.4				第27号単価表
ポリエチレン管切断工	撤去管 呼び径75mm	口	21				第28号単価表
管材処分料	HPPE φ 75	m3	1				処分費
現場発生品及び支給品運搬	片道運搬距離 0.5km 平均積載質量 0.3t/回	回	1				第29号単価表
合 計		式	1				

第4号

廃止管撤去工 1式当たり内訳書

DIP φ 75

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
撤 去	小 計	式	1				
管撤去工	DIP.A φ 75	m	111.5				第30号単価表, 形式撤去
合 計		式	1				

第5号

技術管理費 1式当たり内訳書

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
通水試験工	給水車不要	日	0.06				第45号単価表
合 計		式	1				

第1号

仕切弁ボックス撤去工 1箇所当たり単価表

ソフトシル弁φ50 土被りH=450
φ250鉄蓋, 150CA

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.036				4週8休
合 計		箇所	1				
仕切弁種別 土被り	A = 02 ソフトシル弁φ50 B = 01 土被りH=600		基礎碎石バックホ	規格D = 16	排対2次	山積0.28m3	

第2号

仕切弁ボックス設置工 1箇所当たり単価表

ソフトシル弁 φ 50 土被りH=450
φ 250鉄蓋, 150CA
既設鉄蓋、バックホリ材料再使用 基礎碎石バックホリ規格排対2次 山積0.28m3

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.09				4週8休
仕切弁・消火栓ボックス基礎碎石工	タンパ締固め 再生クラッシャーラン RC-40 バックホリ 排対2次 山積0.28m3	m2	0.2				第39号単価表
合 計		箇所	1				
仕切弁種別 土被り	A = 02 ソフトシル弁 φ 50 B = 01 土被りH=600		基礎碎石バックホリ規格D = 16 排対2次 山積0.28m3				

第3号

土のう撤去工 1袋当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土のう撤去工	小口並べ	m2	10				第4号単価表
合 計		袋	170				
単位当り		袋	1				

第4号

土のう撤去工 1m2当たり単価表

小口並べ

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	2.04				4週8休
諸雑費		式	1				
合 計		m2	10				
単位当り		m2	1				
施工区分	A = 01 小口並べ			作業区分	B = 04 土のう撤去		

設計数量計算書【起工】

港町地内配水管移設工事

配水管移設工

舗装版 取り壊し積み込み工

規格	計算式	数量 (m ²)	備 考
As t=30	1.3m × 0.6m	0.78	HPPE φ 75 民地
	合計	0.78	
		1	設計値

再資源化施設運搬・受入費(南隈 L=2.7km DID: なし)

規格	計算式	数量	備 考
As t=30	0.78m ² × 0.03m	0.02	
	小計	0.02	
		0.02	(m ³) 設計値
	0.02m ³ × 2.20t/m ³ = 0.04t	0.04	(t) 設計値
	合計	0.04	
		0.04	(t) 設計値

管路掘削(機械)

規格	計算式	数量 (m ³)	備 考
土砂	112.5m × 0.6m × 0.54m	36.45	HPPE φ 75 FH-950
	合計	36.45	
		40	設計値

$$(\text{変化率C}) \quad 36.5\text{m} \quad \times \quad 0.9 \quad = 32.81\text{m}^3$$

人力掘削(床掘)

規格	計算式	数量 (m ³)	備 考
土砂	1.3m × 0.6m × 0.02m	0.02	民地 すきとり
	合計	0.02	※管路埋戻しにも流用
		0.02	設計値

$$(\text{変化率C}) \quad 0.02\text{m} \quad \times \quad 0.9 \quad = 0.02\text{m}^3$$

管路埋戻(機械)

規格	計算式	数量 (m ³)	備 考
在来土	112.5m × (0.6m × 0.54m - 0.01m ²)	35.33	HPPE φ 75 FH-950
	合計	35.33	※不足分は場内在来土を流用
		40	設計値

不陸整正工

規格	単位数量	数量 (m ²)	備 考
市道 W=1.8m 未満	1.3m × 0.6m	0.78	民地
		0.78	
		1	設計値

舗装工

規格	単位数量	数量 (m ²)	備 考
As t=50 民地 再生密粒度As(20)	1.3m ×0.6m	0.78	民地
	合計	0.78	
		1	設計値

設計数量計算書【起工】

港町地内配水管移設工事

給水管布設工

管路掘削(機械)

規格	計算式	数量 (m ³)	備 考
土砂	1.10m × 0.60m × 0.54m × 1ヵ所	0.36	切替(小断),給水1 官地 FH-950
	合計	0.36	
		0.4	設計値

$$(変化率C) \quad 0.36m \quad \times \quad 0.9 \quad = 0.32m^3$$

人力掘削(床掘)

規格	単位数量	数量 (m ³)	備 考
土砂	0.50m × 0.60m × 1.24m × 1ヵ所	0.37	切替(小断),給水1 民地 H=1150
	0.50m × 0.60m × 0.53m × 1ヵ所	0.16	切替(小断),給水1 民地 H=460
	合計	0.53	
		0.5	設計値

$$(変化率C) \quad 0.53m \quad \times \quad 0.9 \quad = 0.48m^3$$

管路埋戻(機械)

規格	計算式	数量 (m ³)	備 考
在来土	1.10m × 0.60m × 0.54m × 1ヵ所	0.36	切替(小断),給水1 官地 FH-950
	合計	0.36	※不足分は場内在来土を流用
		0.4	設計値

人力埋戻し+タンパ締固め

規格	単位数量	数量 (m ³)	備 考
在来土	0.50m × 0.60m × 1.24m × 1ヵ所	0.37	切替(小断),給水1 民地 H=1150
	0.50m × 0.60m × 0.53m × 1ヵ所	0.16	切替(小断),給水1 民地 H=460
	合計	0.53	※不足分は場内在来土を流用
		0.5	設計値

現場説明書

1

令和7年5月15日以降適用（鳥取市水道局）

仕様書

- ①この契約において適用する仕様書は特に定めのない限り「鳥取市水道局水道工事標準仕様書」とし、調達公告日時点で最新の仕様書によること。また、この仕様書に定めのない事項は、「鳥取県土木工事共通仕様書」によること。
- ②鳥取県土木工事共通仕様書特記事項第2条の表1-1-1-9工事の下請負の項中「鳥取県調査基準価格及び最低制限価格等設定要領第5条」とあるのは、「鳥取市水道局建設工事低入札価格調査制度実施要領（平成11年11月15日制定）第4条」と読み替えるものとする。
- ③鳥取県土木工事共通仕様書特記事項第2条の表1-1-1-35諸法令の遵守の項中「鳥取県暴力団排除条例（平成23年鳥取県条例第3号）」とあるのは「鳥取市暴力団排除条例（平成24年3月鳥取市条例第1号）」と読み替えるものとする。

工期

- ①（他工事等との調整）
本工事 については、 鳥取県鳥取港湾事務所施行、鳥取港 8 号岸壁改良工事（2 工区）（交付金） と関連するので相互の連絡調整を密にすること。
- ②（部分完成、着工保留）
 については、 まで （すること、しないこと）。
- ③（施工時間）
本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：30～17：00）を見込んでいる。
 の施工時間は、 ： ～ ： とする。
- ④（標準工期）
本工事における標準工期については以下の条件で算定している。また、余裕期間設定工事については実工期に余裕期間を加えたものを標準工期としている。
- | 項 目 | 適 用 |
|----------------|------------------------|
| 工期の設定方法 | 標準工期算定式・標準作業量による積み上げ日数 |
| 本工事に使用する雨休率 | 0.88（R1～R5 5年間平均値） |
| 休日・悪天候以外の作業不能日 | 日（令和 年 月 日～令和 年 月 日） |
| 標準工期（全体工期） | 86日（余裕期間含む・含まない） |
- ⑤（余裕期間設定工事）
本工事は、鳥取市水道局余裕期間設定工事に係る実施要領の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。
標準工期については、④のとおりとする。
- ⑥（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）
この工事の工期には、鋼材調達期間として、 ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
- ⑦（週休2日工事）
本工事は、鳥取市水道局「週休2日工事」実施要領の対象工事である。

用地関係

- ①（用地、物件等未処理）
本工事区間の には があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。
なお、 頃 の予定である。

支障物件

- ①（埋設物等の事前調査）
工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他） 〕について調査済み〕である。
事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他） であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。
その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。
- ②（支障物件）
 の施工に当って、 が支障となっているが、 までに移設が完了する見込である。
予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。
- ③（立木の置き場所）
工事用地内の立木は伐採し、 に置くこと。

公害対策

- ①（低騒音型・低振動型建設機械）
本工事のうち施工箇所： については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。
該当工種： 、施工機械：

現場説明書

2

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u>工事全体合計</u> <u> </u>人・日 交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u>工事全体合計</u> <u> </u>人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成29年10月3日付事務連絡生活環境課長通知）に基づいて適正に処理すること。 （参考URL https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf） ②（千代川水系における濁水防止対策） 本工事は千代川水系内における工事であり、濁水防止対策等については、千代川漁業対策協議会事業調整会議において〔未調整・調整済み〕である。 なお、未調整工事については、<u> </u>までに調整を行う予定である。 工事の実施にあたっては、現場説明書8、9を遵守し、汚濁等の防止に努めること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 工事現場から離れた場所に一定規模以上の一時的な土石の堆積を行う場合は宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）の許可が必要となるため、適正に手続きを行うこと。 （参考URL https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1701049600133/index.html） ①（他工事等流用） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u> 工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m3当り <u> </u>円（税抜き）をセンターに支払うこと。 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m2以上） ③（民間残土受入地） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m3当り <u> </u>円（税抜き）を <u> </u>に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m2以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m3当り <u> </u>円（税抜き）を <u> </u>に支払うこと。 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数 300kN/m2以上） 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1m3当り <u> </u>円（税抜き） アスファルト塊 1m3当り <u> </u>円（税抜き） 建設発生木材 1m3当り <u> </u>円（税抜き）

②（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）

コンクリート塊 _____市・町・村 _____地内の _____
（運搬距離 _____km）、費用 1 t 当り _____円（税抜き）
アスファルト塊 _____鳥取市・町・村 南限 地内の 株式会社ガイアード・八幡コーポレーション共同企業体
（運搬距離 2.7 km）、費用 1 t 当り 2,000 円（税抜き）
建設発生木材 _____市・町・村 _____地内の _____
（運搬距離 _____km）、費用 1 t 当り _____円（税抜き）
その他（廃プラ） _____鳥取市・町・村 港町 地内の 有限会社アセスメントカンパニー
（運搬距離 0.5 km）、費用 1 m3当り 9,000 円（税抜き）

（受入れ時間帯） 8時～17時（平日）

（受入れ条件） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____cm以下、長さ _____m以下であること。

エ 2次災害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

③（他工事等流用）

〔Co塊・ _____〕は、 _____市・町・村 _____地内 _____工事現場に運搬（片道運搬距離 _____km）するものとする。

④（最終処理等）

_____については、 _____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 _____km）を想定し、その費用として 1 t 当り _____円（税抜き）を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑤（産業廃棄物の処理に係る税）

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 _____円（税抜き）見込んでいる。

⑥（木材市場等へ売却）

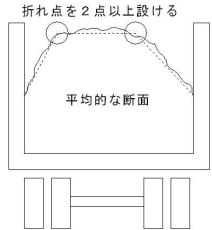
建設発生木材は _____市・町・村 _____地内の _____への搬出（片道運搬距離 _____km）を想定し _____円（税抜き）を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑦（伐木工歩掛及び参考数量）

伐木工は伐木工歩掛（令和元年10月15日付第201900175199号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）による。また伐採工計算書に基づき参考数量として算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑧（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。 ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量（体積（空m3））が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑨（マニフェスト）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

現場説明書

4

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） 本工事の発生土は、<u>工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、</u> 使用箇所： <u>本工事の新設管の埋戻し材</u> に使用する。 ②（再生資材の使用） ア Co雑割材は、<u> </u> 工事から運搬し、使用箇所：<u> </u> に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、<u> </u> 工事から運搬し、使用箇所：<u> </u> に使用する。 ウ 再生クラッシャーラン〔規格：RC- <u> </u>〕は、使用箇所：<u> </u> に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS- <u> </u>〕は、使用箇所：<u> </u> に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：<u>再生密粒度As</u>〕は、使用箇所：<u>舗装工</u> に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：<u> </u>〕〔規格：<u> </u>〕は、使用箇所：<u> </u> に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシャーランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	①（農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に鳥取市農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、鳥取市農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ②（農地の賃貸借） ア <u> </u> の用途に使用するため、鳥取市 <u> </u> 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取市との建設工事請負契約に基づき、土地の賃貸権は鳥取市が有することとし、原状復旧の責は鳥取市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備	
その他	①（自社施工） 本工事においては、<u>（※ 工（ 工を除く）のうち少なくとも 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領（平成22年7月12日付第201000057710号県土整備部長通知）に定めるところにより自社施工しなければならない。</u> ※該当する細別（レベル4）を記載する。 ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、<u>港町地内配水管移設工事</u> とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。 ③（監督体制） 本工事の監督体制は（一般・重点）監督とする。 重点監督の工種は <u> </u> とし、その他の工種は一般監督とする。 なお、鳥取市建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。 ④（三者協議） 本工事は、<u> </u> 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用） ⑤（技能士常駐） 本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。 ア 技能士種別：<u> </u> 技能士、該当工種：<u> </u> 工、特記事項根拠：<u> </u> 頁 イ 技能士種別：<u> </u> 技能士、該当工種：<u> </u> 工、特記事項根拠：<u> </u> 頁 ウ 技能士種別：<u> </u> 技能士、該当工種：<u> </u> 工、特記事項根拠：<u> </u> 頁

⑥（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑦（実施単価全面改定時の適用単価）

実施単価全面改定後に指名通知を行う工事は最新単価を適用することとしているが、本工事は旧単価において積算を行っているため、契約締結後には速やかに最新単価に基づく変更契約を行う。

⑧（設計業務の委託者）

本工事は設計業務は_____が行っている。

⑨（建設機械の賃料の採用単価）

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（_____）〕

イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。

本工事は_____工で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格_____t吊）の採用単価は、（通常単価・長期割引単価）（建設物価_____月号_____頁）を採用し、本工事は_____工で使用を想定している高所作業車（規格_____t吊）の採用単価は、（通常単価・長期割引単価）（建設物価_____月号_____頁）を採用している。

⑩（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む）, 9. 社会貢献
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）

現場環境改善費における主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用は、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

その他

⑪（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。また、気象庁から高温注意報（最高気温 35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

⑫（現場管理費補正）

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の対象工事と〔する・しない〕。
熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、
<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>（治山工事、林道工事の場合は
<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>）に掲載の熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領に基づき、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。

⑬（日本芝生産地への配慮）

日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。
ア 〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。
イ 〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。
ウ 〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り 円を見込んでいる。

⑭（ICT活用工事〔受注者希望型(LightICTを含む)〕）

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事である。ICTの活用を希望する場合は、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。
仕様書の改定状況は <https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm> を参照すること。

その他 ⑮（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。
安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm> に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑯（掲示板の設置）

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と標記すること。標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にすること。

⑰（下請関係の適正化）

下請関係の適正化については、<https://www.water.tottori.tottori.jp/1833.htm> を参照の上労働者の福祉向上に務めること。

⑱（快適トイレの試行）

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。
(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法900×900mm以上（面積ではない）
- (13) 擬音装置（機能を含む）
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化

- (16) 室内温度の調整が可能な設備
(17) 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）
2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】（該当しない場合は削除）
快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。
受注者は、上記 1 の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。
【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。
なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基/工事（施工箇所）※までとする。
また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。
※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。
2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事】（該当しない場合は削除）
快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。
受注者は、上記 1 の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。
【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。
なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基/工事（施工箇所）※までとする。
また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基/工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。
※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。
3. その他
快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

そ
の
他

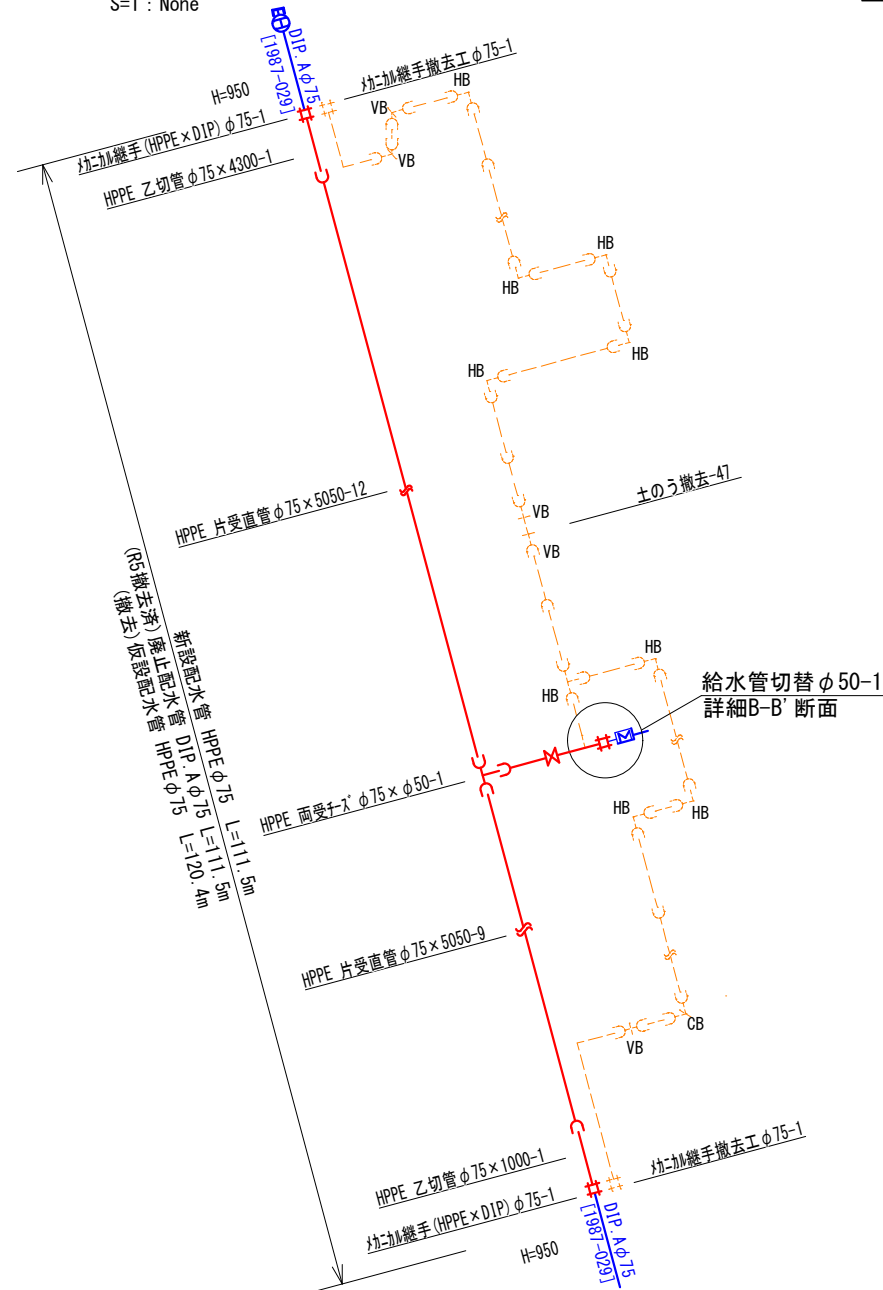


工 事 名	港町地内配水管移設工事		
位 置	鳥 取 市 港 町 地 内		
図 名	位 置 図		
縮 尺	1:2500	図面Size	A4
単 位	-	図 号	1 / 2
施工年度	令 和 7 年 度		
鳥 取 市 水 道 局			

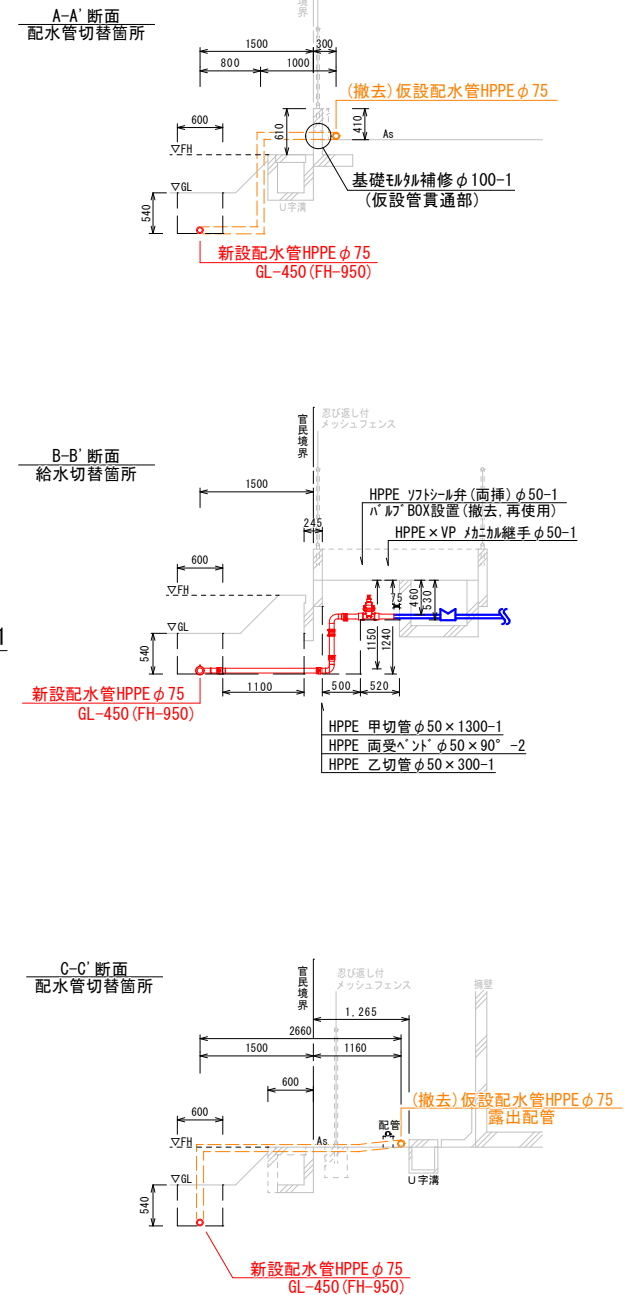
平面図
S=1 : 500



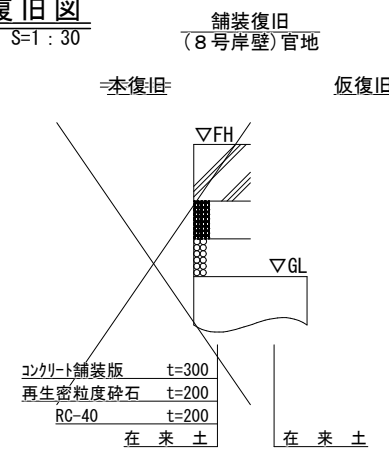
配管図
S=1 : None



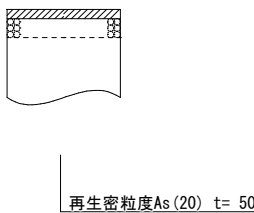
断面図
S=1 : 50



復旧図
S=1 : 30



舗装復旧 (民地)
本復旧



廃止配水管DIP Aφ75については、
鳥取県鳥取港湾事務所工事で撤去済。

起工図面

工 事 名	港町地内配水管移設工事		
位 置	鳥 取 市 港 町 地 内		
図 名	平面図、配管図、断面図、復旧図		
縮 尺	図 示	図面Size	A1
単 位	m, mm	図 号	2 / 2
施工年度	令和 7 年 度		
鳥 取 市 水 道 局			

港町地内配水管移設工事

積算参考資料

第5号

ポリエチレン管据付工 1m当たり単価表

呼び径75mm 融着接合

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.1				4週8休
普通作業員		人	0.18				4週8休
合 計		m	10				
単位当り		m	1				
	呼び径 A = 07 75mm		融着継手（EF継手）B = 02 行ふ				

第6号 管明示テープ工（ポリエチレン管） 1m当たり単価表 HPPE φ75							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
管明示テープ工（ポリエチレン管布設工）	テープの貼付手間のみ 呼び径φ75	m	100				第31号単価表
明示テープ	幅50mm 年号入り	m	133.91				全管種共通
合 計		m	100				
単位当り		m	1				
	口径A = 03 HPPE φ75						

第7号

溶剤浸透防護スリーブ被覆工 1m当たり単価表

呼び径75mm 専用固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ使用

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.25				4週8休
普通作業員		人	0.25				4週8休
溶剤浸透防護スリーブ	φ 7 5	m	120				
ポリスリーブ締付バンド	溶剤浸透保護スリーブ用 φ 7 5	個	168				(JWWA K 158)
合 計		m	100				
単位当り		m	1				
呼び径 固定具種別	A = 02 75mm以下 B = 02 固定用ｺﾞﾑﾊﾞﾝﾄﾞ	[α] [β]	溶剤浸透防護スリーブ割増係数 固定バンド割増係数	C = 0 D = 0.1			

第8号

管明示シート工 1m当たり単価表

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.4				4週8休
埋設標識シート	ポリエチレンクロス 1 5 0 mm	m	100				折込率2倍, アルミなし
合 計		m	100				
単位当り		m	1				

第9号

ポリエチレン管継手工 1口当たり単価表

呼び径75mm 融着継手

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.056			9	4週8休
普通作業員		人	0.056			9	4週8休
諸雑費		%	8.5				
合 計		口	1				
呼び径 融着継手 (EF継手)	A = 07 75mm B = 02 行う			単位C = 02 1口当たり			

第10号

ポリエチレン管継手工 1箇所当たり単価表

(2口当り)
呼び径75mm 融着継手

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.08			9	4週8休
普通作業員		人	0.08			9	4週8休
諸雑費		%	8.5				
合 計		箇所	1				
呼び径 融着継手 (EF継手)	A = 07 75mm B = 02 行う			単位C = 01	1箇所(2口当り)		

第11号		ポ リエチレン管切断工 1口当たり単価表						呼び径75mm	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工				人	0.01			9	4週8休
普通作業員				人	0.01			9	4週8休
諸雑費				%	7				
合 計				口	1				
呼び径 A = 07 75mm									

第12号

継手工 1箇所当たり単価表

ドレッサー型ジョイント(特殊)
呼び径75mm以下

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
RR継手工	離脱防止金具使用 呼び径75mm	口	2				第32号単価表
合 計		箇所	1				
継手種別	A = 01 ドレッサー型ジョイント(特殊)			呼び径B = 02 75mm以下			

舗装版破碎 1m2当たり単価表

アスファルト舗装版
障害等有り 舗装版厚4cm以下

第13号

機械構成比：1.9%

労務構成比：95.76%

材料構成比：2.34%

市場単価構成比：0%

標準単価：

代表機労材規格（積算地区）	構成比	単価（積算地区）	代表機労材規格（東京地区）	単価（東京地区）	備 考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5～3.7m3/min 吐出圧力0.7MPa	1.48%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5～3.7m3/min		4週8休
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.42%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		
特殊作業員	60.52%		特殊作業員		4週8休
普通作業員	35.24%		普通作業員		4週8休
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	2.34%		軽油パトロール給油		
積算単価			積算単価		
舗装版種別 A = 01 アスファルト舗装版			積込作業の有無 F = 02 積込作業無し		
障害等の有無 B = 02 障害等有り			1日未満で完了する作業の適用 G = 01 -(全ての費用)		
舗装版厚 D = 04 舗装版厚4cm以下					

[illegible]

アスファルト塊処理 1m3当たり単価表

BH山積0.28m3 ダンプ2t積
DID区間無し 良好 運搬距離2.7km

[illegible]

第16号

バックホ掘削積込 1m3当たり単価表

排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	1.9				4週8休
普通作業員		人	5				4週8休
バックホ運転	ｸｰﾌﾞ型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	11.1				第34号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				
バックホ規格	A = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)						

第17号 床掘り 1m3当たり単価表					
機械構成比：0% 労務構成比：100% 材料構成比：0% 市場単価構成比：0% 標準単価：土砂 現場制約あり					
代表機労材規格（積算地区）	構成比	単価（積算地区）	代表機労材規格（東京地区）	単価（東京地区）	備 考
普通作業員	100%		普通作業員		4週8休
積算単価			積算単価		
土質 A = 01 土砂			1日未満で完了する作業の適用 E = 01 -(全ての費用)		
施工方法 B = 06 現場制約あり					

第18号

管路埋戻(機械埋戻バックホ) 1m3当たり単価表

タンパ 締固め 発生土
バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	2.5				4週8休
普通作業員		人	6.8				4週8休
バックホ運転	ｸﾗｰ型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	7.6				第34号単価表
タンパ 運転(賃料)	タンパ 60～80kg	日	3				第35号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				
埋戻材料	A = 01 発生土		バックホ規格C = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)				

第19号

不陸整正工 1m²当たり単価表

施工幅1.8m未満
補足材無し

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.52				4週8休
ﾀﾝﾊﾟ 運転(賃料)	ﾀﾝﾊﾟ 60～80kg	日	0.46				第36号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		m ²	100				
単位当り		m ²	1				
施工幅 A = 01	1.8m未満		補足材種別 B = 16	補足材無し			

第20号の1

アスファルト舗装(人力) 1㎡当たり単価表

歩道部 再生密粒度アスコン(20)
舗装厚50mm プライムコート

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	0.4			29	4週8休
特殊作業員		人	0.8			29	4週8休
普通作業員		人	1.6			29	4週8休
再生アスファルト混合物	密粒度 (2 0)	t	12.1				
アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	L	126				
振動ロータリ運転	ハットカイト式 0.5～0.6t	日	0.4			29	第37号単価表
振動コンパクタ運転	前進型 40～60kg	日	0.4			29	第38号単価表
諸雑費		%	19				
合 計		㎡	100				
単位当り		㎡	1				

第20号の2

アスファルト舗装(人力) 1㎡当たり単価表

歩道部 再生密粒度アスコン(20)
舗装厚50mm プライムコート

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
アスファルト混合物種類 歩車道区分 [t]1層当り仕上り厚さ	A = 08 再生密粒度アスコン(20) B = 02 歩道部 C = 01 t ≤ 50			舗装厚(mm) D = 50 散布種類 E = 03 プライムコート 砂まき F = 02 砂まき無し			

第21号													
ポリエチレン管据付工 1m当たり単価表													
呼び径50mm 融着接合													
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額		雑	摘 要			
配管工				人	0.1					4週8休			
普通作業員				人	0.18					4週8休			
合 計				m	10								
単位当り				m	1								
呼び径 A = 06 50mm					融着継手（EF継手） B = 02		行 う						

第22号							
ポリエチレン管継手工 1口当たり単価表							
呼び径50mm 融着継手							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.056			9	4週8休
普通作業員		人	0.056			9	4週8休
諸雑費		%	8.5				
合 計		口	1				
呼び径 融着継手 (EF継手)	A = 06 50mm B = 02 行う			単位C = 02 1口当たり			

第23号

ポリエチレン管切断工 1口当たり単価表

呼び径50mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.01			9	4週8休
普通作業員		人	0.01			9	4週8休
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				
呼び径 A = 06 50mm							

第24号

仕切弁 バックラ弁設置(人力)(縦・横型) 1基当たり単価表

吊込み据付
呼び径50mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.03				4週8休
普通作業員		人	0.15				4週8休
合 計		基	1				
	呼び径 A = 01 50mm			作業区分 B = 01	設置		

第25号

人力埋戻し+タンパ締固め 1m 3 当たり単価表

在来土

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
埋戻し	土砂 現場制約あり 締固め有り	m3	1				第40号単価表
合 計		m 3	1				
埋戻し材	A = 03 在来土						

第26号

継手撤去工 1箇所当たり単価表

ドレッカー型ジョイント(特殊)
呼び径75mm以下

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
継手撤去工	R R 離脱防止金具使用 呼び径75mm	箇所	2				第41号単価表
合 計		箇所	1				
継手種別	A = 01 ドレッカー型ジョイント(特殊)			呼び径B = 02 75mm以下			

第27号		既設ポリethylene管吊上げ積込み 1m当たり単価表						呼び径75mm	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工				人	0.06				4週8休
普通作業員				人	0.108				4週8休
合 計				m	10				
単位当り				m	1				
呼び径 A = 07 75mm									

第28号

ポリエチレン管切断工 1口当たり単価表

撤去管
呼び径75mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.003			9	4週8休
普通作業員		人	0.003			9	4週8休
諸雑費		%	7				
合 計		口	1				
呼び径 A = 07 75mm							

第29号

現場発生品及び支給品運搬 1回当たり単価表

片道運搬距離 0.5km
平均積載質量 0.3t/回

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.02				4週8休
トラック運転	クレーン装置付 2t積 2t吊	時間	0.108				第42号単価表
諸雑費		式	1				
合 計		回	1				
	規格 A = 09 クレーン装置付 2t積 2t吊 [L]片道運搬距離(km) B = 0.5	[q]1回当たり平均積載質量(t) C = 0.3					

第30号

管撤去工 1m当たり単価表

DIP. A φ 75
形式撤去

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0				4週8休
普通作業員		人	0				4週8休
合 計		m	1				

第31号

管明示テープ工(ポリ塩化ビニル管布設工) 1m当たり単価表

テープの貼付手間のみ
呼び径φ75

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人	0.1				4週8休
合 計		m	100				
単位当り		m	1				
呼び径 A = 02 φ75							

第32号

RR継手工 1口当たり単価表

離脱防止金具使用
呼び径75mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	0.039			9	4週8休
普通作業員		人	0.039			9	4週8休
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				
	呼び径 A = 02 75mm			離脱防止金具 B = 01 使用			

第33号

アスファルト塊運搬費 1m3当たり単価表

BH山積0.28m3 ダンプ 2t積
DID区間無し 良好 運搬距離2.7km

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 2t積級 良好	日	1.04				第43号単価表
合 計		m3	10				
単位当り		m3	1				
	規格 A = 03 BH山積0.28m3 ダンプ 2t積 運搬距離(km) B = 2.7 DID区間 C = 01 DID区間無し			路面状態 D = 01 良好 種別 E = 02 アスファルト塊			

第34号

バックホ運転 1時間当たり単価表

クロー型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	0.16				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	5.9				
バックホウ(クローラ型)	標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	時間	1				
諸雑費		式	1				
合 計		時間	1				
バックホ規格 損料割増	A = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3) B = 01 割増なし			運転労務数量C = 0.16 燃料消費量D = 5.9			

第35号

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60～80kg

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5				
＜賃＞タンパ(ランマ)	質量60～80kg	供用日	1.38				4週8休
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
タンパ° 規格 運転労務数量	A = 01 タンパ° 60～80kg B = 1			燃料消費量C = 5 機械賃料数量D = 1.38			

第36号

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60～80kg

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
ガソリン	レギュラー スタンド	L	4				
＜賃＞タンパ(ランマ)	質量60～80kg	供用日	1. 61				4週8休
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
タンパ° 規格 運転労務数量	A = 01 タンパ° 60～80kg B = 1			燃料消費量C = 4 機械賃料数量D = 1. 61			

第37号

振動ローラ運転 1日当たり単価表

ハンドガイド式
0.5～0.6t

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー（パトロール給油）	L	3				
振動ローラ（舗装用）	ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	供用日	1.23				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
	規格 A = 01 0.5～0.6t 燃料消費量 B = 3		機械損料数量 C = 1.23				

第38号

振動コンパクト運転 1日当たり単価表

前進型 40～60kg

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人	1				4週8休
ガソリン	レギュラー スタンド	L	5				
振動コンパクト	前進型 運転質量40～60kg	供用日	1.4				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
	規格 A = 01 前進型 40～60kg 燃料消費量 B = 5		機械損料数量 C = 1.4				

第39号

仕切弁・消火栓ボックス基礎砕石工 1m2当たり単価表

タンハ° 締固め 再生クラッシャーラン RC-40
ハ° ックホ 排対2次 山積0.28m3

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
管路埋戻(機械埋戻ハ° ックホ)	タンハ° 締固め 再生クラッシャーラン RC-40 ハ° ックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	0.1				第44号単価表
合 計		m2	1				
埋戻材料	A = 06 再生クラッシャーラン RC-40		ハ° ックホ規格B = 16	排対2次	山積0.28m3		

第40号 埋戻し 1m3当たり単価表 土砂 現場制約あり 締固め有り 機械構成比：0.26% 労務構成比：99.38% 材料構成比：0.36% 市場単価構成比：0% 標準単価：					
代表機労材規格（積算地区）	構成比	単価（積算地区）	代表機労材規格（東京地区）	単価（東京地区）	備 考
＜賃＞タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.26%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		4週8休
普通作業員	88.41%		普通作業員		4週8休
特殊作業員	10.97%		特殊作業員		4週8休
ガソリン レギュラー スタンド	0.36%		ガソリンレギュラースタンド		
積算単価			積算単価		
施工方法 A = 06 現場制約あり			締固めの有無 C = 01 締固め有り		
土質区分 B = 01 土砂		1日未満で完了する作業の適用	D = 01 -(全ての費用)		

第41号

継手撤去工 1箇所当たり単価表

RR 離脱防止金具使用
呼び径75mm

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
RR継手工	離脱防止金具使用 呼び径75mm	口	0.6				第32号単価表
合 計		箇所	1				
	呼び径 A = 02 75mm			離脱防止金具 B = 01 使用			

第42号 トラック運転 1時間当たり単価表 クレーン装置付 2t積 2t吊							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊運転手		人	0.17				4週8休
軽油	小型ローリー (パトロール給油)	L	3.9				
トラック	クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.0t	時間	1				
諸雑費		式	1				
合 計		時間	1				
	規格 A = 09 クレーン装置付 2t積 2t吊						

第43号

ダンプトラック運転 1日当たり単価表

割増なし
2t積級 良好

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
一般運転手		人	1				4週8休
軽油	小型ローリー（パトロール給油）	L	21				
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	供用日	1.29				
タイヤ損耗費	ダンプトラック	供用日	1.29				
諸雑費		式	1				
合 計		日	1				
規格 損料割増 路面状態 運転労務数量	A = 01 2t積級 B = 01 割増なし C = 01 良好 D = 1			燃料消費量E = 21 機械損料数量(ダンプトラック) F = 1.29 機械損料数量(タイヤ損耗費) G = 1.29			

第44号							
管路埋戻(機械埋戻バックホ) 1m3当たり単価表							
タハ 締固め 再生クラッシャーラン RC-40 バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)							
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人	2.5				4週8休
普通作業員		人	6.8				4週8休
バックホ運転	クワ型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	時間	7.6				第34号単価表
タハ 運転(賃料)	タハ 60～80kg	日	3				第35号単価表
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	127				
諸雑費		式	1				
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				
埋戻材料	A = 06 再生クラッシャーラン RC-40		バックホ規格C = 16 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)				

第45号

通水試験工 1日当たり単価表

給水車不要

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
配管工		人	3			9	4週8休
普通作業員		人	3			9	4週8休
器具損料及び諸雑費		%	20				
合 計		日	1				
給水車 A = 02 不要							

工事名:港町地内配水管移設工事

[illegible]